

第1課題：松濤プロジェクト ---都心部の住宅+ α の新しい可能性を提案する---

都心部（渋谷区松濤）における住宅+ α のプロジェクトを企画、計画し、設計するプロジェクトが、第一課題です。建築の設計は、敷地、クライアントの設計条件など様々な要素が設計の手がかりとなります。今回の課題では、自らがテーマをひとつ設定し、それに基づいて計画、設計することを条件とします。それは、壁、窓、庇、屋根などの部位、+ α の用途、家族構成、光、スケール、素材、構造、設備環境など各自の着目点を意識し、自由にテーマを設定した住宅の新しい可能性を提案して下さい。

■ 設計条件

- 1 敷地条件** 所在地：東京都渋谷区松濤1-29-11（渋谷駅徒歩8分、松濤駅徒歩4分）
敷地面積：215㎡（敷地見学、周辺調査時に近隣に迷惑をかけること。）
用途地域：第1種住居地域（建蔽率：80%、容積率：192%）
前面道路：南側4.8m、北側4.0m（セットバック有）
高さ制限：道路斜線、北側斜線、隣地斜線、高度地区（建築基準法による）
- 2 計画条件** 延床面積：300㎡程度（建築基準法の建蔽率、容積率の範囲内）
住宅部分：クライアントを自由に想定すること（家族構成、年齢、職業、趣味等）
+ α 部分：用途（店舗、仕事場、賃貸住居等...立地条件を活かす用途）は自由に想定すること。
※ 住宅部分と+ α 部分の比率は自由とすること
- 3 テーマ設定** 住宅を計画する上で、自らのテーマを設定し、それに基づいて計画、設計すること。
提案説明：設定したテーマに対する新しい可能性を提案説明としてまとめること。
タイトル：設定したテーマに沿った設計内容にふさわしいタイトルをつけること。
- 4 評価基準** ① 提案内容が、建築の設計になっているか。
② 設計内容が、新しさ・批評性を持ちうる提案になっているか。
③ エスキースチェック、中間発表、最終成果品が、3年後期課題としての量と質があるか。
④ 中間発表、最終講評会におけるプレゼンテーション評価。
⑤ 以上の基準による評点と出席による総合評価。

■ 提出物

- ① 計画概要（提案説明を含めた計画概要）
- ② 仕上表（外部仕上、内部仕上）
- ③ 配置図（1/100~1/300）
- ④ 平面図（1/100）：各階
- ⑤ 立面図（1/100）：2面以上
- ⑥ 断面図（1/100）：2面以上
- ⑦ 外観、内観パース（模型写真可）
- ⑧ 模型（1/50）：敷地周辺を含む
以上をA1サイズ（2枚以上）にパネル化して提出